

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月7日			
平成15年度	事業コード	13110	電話	042-769-8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	保育係
事務事業名	分園施設賃借料補助金			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	11年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

## 2 実施根拠及び関連法令等

児童福祉法第56条の7（保育所の設置又は運営の促進）
----------------------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
分園設置のメリットとして(1)駅前等、土地の確保が困難な場所での開園ができる。(2)保育需要の動向により、廃園することができる。(3)需要の多い、乳児の受入れ枠の拡大が図れるなど、待機児童解消策としての分園事業を推進するために賃借料補助制度を実施している。	分園を整備する社会福祉法人
	対象数 3法人3施設
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
3施設に対して、年額17,506,164円 対象施設 淵野辺保育園分園 ほのぼの くぬぎ台保育園分園 ひよこ保育園分園 ぴよぴよ	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	分園設置計画数の達成度	分園設置数/分園設置計画数*100	分園設置計画数と設置数の割合	67	100	100	100	100
	分園利用度の拡大	分園入所児童数/分園定員*100	分園入所割合	89	99	100	100	100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	11,207	17,507	17,507	17,507	17,507
決算(予算)額	11,207	17,507	17,507	17,507	17,507
人員・時間数	1	1	1	1	1
人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
その他経費					
合計	19,597	25,897	25,897	25,897	25,897
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	2	3	3	3	3
対象の単位あたり経費	9,798.5	8,632.3	8,632.3	8,632.3	8,632.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	設置数、利用割合については、初期の目標を達成していると考える。
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B：一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 認可保育所の待機児童が解消されていないので、引き続き分園の運営は必要と考える。
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B：一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C：有効ではない		
		説明	定員に対する分園の利用割合がほぼ100%なので、待機児童を解消するには、有効であると考える。
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	自己所有であれば賃借料はいらないので、コスト面では効率がよくない。
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B：一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	地域の状況に応じた賃料の設定となっているが、鑑定士等により確認を行なっている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 分園の入所率はほぼ100%であるが、定員の制限が緩和されているため、定員の拡大の余地はある。	手段	10年間の社会福祉法人と賃貸人の賃貸借契約となっており、賃借料の変更による減額は見込めない。
		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	県内ではなし。
今後の進め方			
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明	
<input type="checkbox"/>	見直し	本市の緊急課題である待機児童解消策として、10年間を目途として実施した分園事業であるが、現在の待機児童の状況から見ても、本助成は今後も必要である。	
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済		

12 二次評価コメント

--